



## 2026年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年5月13日

上場会社名 株式会社網屋 上場取引所 東  
 コード番号 4258 URL <https://www.amiya.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石田 晃太  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画部長 (氏名) 宮田 昌紀 (TEL) 03 (6822) 9999  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2026年12月期第1四半期の連結業績(2026年1月1日~2026年3月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第1四半期	1,762	26.8	347	23.1	331	19.0	227	14.2
2025年12月期第1四半期	1,389	14.5	282	24.5	278	15.8	199	16.3

(注) 包括利益 2026年12月期第1四半期 215百万円(12.5%) 2025年12月期第1四半期 191百万円(△2.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第1四半期	27.19	24.88
2025年12月期第1四半期	24.13	23.37

(注) 当社は、2025年7月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第1四半期	7,197	2,010	27.7
2025年12月期	6,940	2,833	40.8

(参考) 自己資本 2026年12月期第1四半期 1,996百万円 2025年12月期 2,829百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	0.00	—	15.73	15.73
2026年12月期	—	—	—	—	—
2026年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 現時点では、2026年12月期の配当予想は未定であります。

## 3. 2026年12月期の連結業績予想(2026年1月1日~2026年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,002	18.0	1,200	14.1	1,188	13.3	850	13.3	101.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 8 「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年12月期1Q	8,830,400株	2025年12月期	8,830,400株
-------------	------------	-----------	------------

② 期末自己株式数

2026年12月期1Q	619,796株	2025年12月期	316,596株
-------------	----------	-----------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2026年12月期1Q	8,368,942株	2025年12月期1Q	8,256,266株
-------------	------------	-------------	------------

(注) 当社は2025年7月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無  
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なることがあります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3 「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
（1）経営成績に関する説明	2
（2）財政状態に関する説明	3
（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
（1）四半期連結貸借対照表	4
（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
（第1四半期連結累計期間）	6
四半期連結包括利益計算書	7
（第1四半期連結累計期間）	7
（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
（継続企業の前提に関する注記）	8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	8
（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）	8
（セグメント情報等）	9
（キャッシュ・フロー計算書に関する注記）	10
（重要な後発事象）	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

近年、取引先に影響を及ぼすサイバー攻撃が頻発しており、サプライチェーン全体でのサイバーセキュリティ対策が求められています。こうした中、当第1四半期連結累計期間において、経済産業省及び内閣官房国家サイバー統括室により、企業のサイバーセキュリティ対策を可視化する仕組みである「サプライチェーン強化に向けたセキュリティ対策評価制度」（略称：SCS評価制度）の制度開始に向けた取組みが進展しております。

当該制度においては、ログ取得・監査証拠の確保、不正アクセス防止、通信の安全性等の観点の評価対象とされており、企業におけるセキュリティ対策および監査対応の重要性が一層高まっております。このような環境のもと、当社のログ管理製品「ALog」やフルマネージドSASEサービス「Verona」に対する引き合いは増加いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は前年同期比26.8%増の1,762,155千円、営業利益は前年同期比23.1%増の347,676千円、経常利益は前年同期比19.0%増の331,591千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比14.2%増の227,515千円となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

## データセキュリティ事業

当第1四半期連結累計期間におけるデータセキュリティ事業は、SCS評価制度への対応需要の高まりに加え、ランサムウェア事案の原因解明に資する分析ツールとして、当社のログ管理製品「ALog」の採用が進み、売上は堅調に推移いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は前年同期比32.5%増の722,934千円、セグメント利益は前年同期比54.1%増の346,347千円となりました。

## ネットワークセキュリティ事業

当第1四半期連結累計期間におけるネットワークセキュリティ事業は、クラウド上から遠隔で通信インフラを管理できる「ネットワーク仮想化」やランサムウェア・フィッシング等の「サイバーセキュリティ対策」などへのニーズの高まりを背景に、引き続き「Network All Cloud」が堅調に推移いたしました。利益率については、今後高い需要が期待される「SASE※」への販促投資、研究開発投資が先行し、セグメント利益率は低下いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は前年同期比23.1%増の1,039,221千円、セグメント利益は前年同期比1.3%減の257,025千円となりました。

（SASE※：ネットワークとセキュリティの機能が一体化されたクラウド型のサービス）

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期連結会計期間末における総資産は7,197,823千円となり、前連結会計年度末と比較して257,188千円増加しました。これは主に、現金及び預金が287,477千円増加、投資有価証券が59,018千円減少したこと等によるものです。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は5,187,419千円となり、前連結会計年度末と比較して1,080,382千円増加しました。これは主に、社債が1,500,000千円増加、短期借入金が300,000千円減少、未払法人税等が117,950千円減少したこと等によるものです。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産の合計2,010,403千円となり、前連結会計年度末と比較して823,193千円減少しました。これは主に、自己株式の取得による増加により888,982千円減少したこと等によるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年12月期の連結業績予想につきましては、2026年2月12日付「2025年12月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表いたしました通期の業績予想から変更ありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,561,892	4,849,370
売掛金	673,358	673,700
仕掛品	80,659	57,682
原材料及び貯蔵品	410,483	410,194
その他	399,508	455,729
流動資産合計	6,125,902	6,446,676
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	90,512	90,705
減価償却累計額	△48,508	△49,666
建物及び構築物（純額）	42,003	41,038
工具、器具及び備品	193,802	193,765
減価償却累計額	△153,508	△156,763
工具、器具及び備品（純額）	40,294	37,001
有形固定資産合計	82,297	78,040
無形固定資産		
のれん	86,740	83,004
ソフトウェア	81,583	73,791
その他	1,885	1,870
無形固定資産合計	170,209	158,667
投資その他の資産		
投資有価証券	315,501	256,483
長期前払費用	13,236	24,285
繰延税金資産	111,877	130,969
保険積立金	43,939	45,685
敷金	62,128	43,572
その他	15,541	13,441
投資その他の資産合計	562,224	514,438
固定資産合計	814,731	751,146
資産合計	6,940,634	7,197,823

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	176,521	197,149
短期借入金	700,000	400,000
1年内返済予定の長期借入金	139,943	120,498
未払金	162,957	150,220
未払費用	174,142	150,843
未払法人税等	219,857	101,906
契約負債	2,059,339	2,186,160
賞与引当金	88,700	1,500
役員業績連動報酬引当金	22,400	27,099
従業員業績連動報酬引当金	14,000	16,499
その他の引当金	9,800	11,549
預り金	27,663	45,610
その他	104,889	90,783
流動負債合計	3,900,213	3,499,817
固定負債		
社債	—	1,500,000
長期借入金	92,063	70,271
長期末払金	38,400	38,400
退職給付に係る負債	70,927	73,248
その他の引当金	5,433	5,683
固定負債合計	206,823	1,687,602
負債合計	4,107,036	5,187,419
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	65,968	65,968
資本剰余金	902,467	902,991
利益剰余金	2,316,420	2,409,490
自己株式	△497,125	△1,386,108
株主資本合計	2,787,731	1,992,341
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	41,443	4,040
その他の包括利益累計額合計	41,443	4,040
新株予約権	—	8,854
非支配株主持分	4,422	5,166
純資産合計	2,833,597	2,010,403
負債純資産合計	6,940,634	7,197,823

## （2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自2025年1月1日 至2025年3月31日）	当第1四半期連結累計期間 （自2026年1月1日 至2026年3月31日）
売上高	1,389,618	1,762,155
売上原価	733,821	935,389
売上総利益	655,796	826,766
販売費及び一般管理費	373,265	479,089
営業利益	282,530	347,676
営業外収益		
受取利息	1,508	4,377
為替差益	—	278
保険解約返戻金	—	19
受取手数料	1,304	107
助成金収入	47	1,228
雑収入	16	464
営業外収益合計	2,877	6,476
営業外費用		
支払利息	2,416	2,942
為替差損	2,843	—
自己株式取得費用	1,422	8,000
社債発行費	—	10,480
その他	35	1,137
営業外費用合計	6,718	22,561
経常利益	278,690	331,591
特別利益		
その他	0	6
特別利益合計	0	6
税金等調整前四半期純利益	278,690	331,597
法人税等	79,446	103,337
四半期純利益	199,243	228,260
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	744
親会社株主に帰属する四半期純利益	199,243	227,515

四半期連結包括利益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
四半期純利益	199,243	228,260
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8,144	△12,448
その他の包括利益合計	△8,144	△12,448
四半期包括利益	191,098	215,812
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	191,098	215,067
非支配株主に係る四半期包括利益	—	744

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

## 1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日
2026年3月26日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	133,922	15.73	2025年12月31日	2026年3月27日

## 2. 株主資本の金額の著しい変動

(自己株式の取得)

当社は、2026年2月12日開催の取締役会決議に基づき2026年2月13日において、自己株式を303,200株取得しております。この結果、当第1四半期連結累計期間において自己株式が888,982千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が1,386,108千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	データ セキュリティ 事業	ネットワーク セキュリティ 事業	計		
売上高					
一時点で移転される財又は サービス	145,951	443,172	589,123	—	589,123
一定の期間にわたり 移転される財又はサービス	399,477	401,017	800,495	—	800,495
顧客との契約から生じる収益	545,428	844,189	1,389,618	—	1,389,618
外部顧客への売上高	545,428	844,189	1,389,618	—	1,389,618
セグメント間の内部売上高 又は振替高	10,093	—	10,093	△10,093	—
計	555,522	844,189	1,399,712	△10,093	1,389,618
セグメント利益	224,755	260,408	485,163	△202,633	282,530

(注) 1. セグメント利益の調整額△202,633千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であります。なお、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	データ セキュリティ 事業	ネットワーク セキュリティ 事業	計		
売上高					
一時点で移転される財又は サービス	193,674	506,400	700,075	—	700,075
一定の期間にわたり 移転される財又はサービス	529,260	532,820	1,062,080	—	1,062,080
顧客との契約から生じる収益	722,934	1,039,221	1,762,155	—	1,762,155
外部顧客への売上高	722,934	1,039,221	1,762,155	—	1,762,155
セグメント間の内部売上高 又は振替高	27,316	16,625	43,942	△43,942	—
計	750,251	1,055,846	1,806,097	△43,942	1,762,155
セグメント利益	346,347	257,025	603,372	△255,695	347,676

(注) 1. セグメント利益の調整額△255,695千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であります。なお、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 （自 2025年1月1日 至 2025年3月31日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2026年1月1日 至 2026年3月31日）
減価償却費	21,951千円	35,781千円
のれんの償却額	2,016千円	3,735千円

## （重要な後発事象）

（株式取得による会社等の買収）

当社は、本日2026年5月13日開催の取締役会において、下記のとおり、株式会社アンペール（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：関孝和、以下「アンペール社」という。）の発行済株式を取得し、連結子会社化することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

## 1. 株式の取得の理由

当社は、サイバーセキュリティの総合プロバイダとして、セキュリティ製品の開発・製造・販売に加え、コンサルティングやインシデント対応サービスなど、セキュリティに関するサービスを幅広く展開しております。中でも今後の重要な事業領域の一つに位置づける、フルマネージドSASEサービス「Verona」においては、これまでルータ（ハードウェア）の仕入れを海外に依存していたため、海外の物価上昇並びに円安による調達コストの増加や外的要因による調達遅延といった課題を抱えていました。

このような状況を踏まえ、産業機器やIT機器の製造を手掛けるアンペール社を子会社化することで、通信機器の調達コスト低減および安定供給の実現が期待できると判断し、本件株式取得を決議いたしました。

## 2. 異動する子会社（株式会社アンペール）の概要

(1)	名称	株式会社アンペール		
(2)	所在地	東京都新宿区西新宿七丁目5番3号 斎藤ビル		
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役社長 関 孝和		
(4)	事業内容	コンピュータ（ハードウェア・ソフトウェア）応用機器 周辺機器装置等の開発、製造、販売		
(5)	資本金	1億円		
(6)	設立年月日	1971年10月7日		
(7)	大株主及び持ち株比率	関 孝和 97.84%		
(8)	上場会社と当該会社との関係	資本関係	該当事項はありません	
		人的関係	該当事項はありません	
		取引関係	当該会社より当社に対しネットワーク機器の販売および保守を提供。	
(9)	当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態			
	決算期	2023年9月期	2024年9月期	2025年9月期
	純資産	329百万円	427百万円	546百万円
	総資産	1,289百万円	1,453百万円	1,427百万円
	一株当たり純資産	1,095円85銭	1,421円2銭	1,815円78銭
	売上高	1,605百万円	1,705百万円	1,886百万円
	営業利益	83百万円	113百万円	137百万円
	経常利益	79百万円	108百万円	132百万円
	当期純利益	74百万円	105百万円	126百万円
	一株当たり当期純利益	246円49銭	350円17銭	419円76銭
	一株当たり配当金	0円	0円	0円

## 3. 株式取得の相手先の概要

(1)	氏名	関 孝和
(2)	住所	埼玉県八潮市
(3)	上場会社と当該個人との関係	資本関係・人的関係・取引関係はありません。また関連当事者にも該当いたしません。

## 4. 取得株式数、取得価格および取得前後の所有株式の状況

(1)	異動前の所有株式数	0株
(2)	取得株式数	294,300株
(3)	取得価額	株式会社アンペールの普通株式 538百万円 アドバイザー費用等（概算額） 2百万円 合計（概算額） 540百万円
(4)	異動後の所有株式数	294,300株 （議決権所有割合：97.84%）

## 5. 日程

(1)	取締役会決議日	2026年5月13日
(2)	契約締結日	2026年5月13日
(3)	株式譲渡実行日	2026年5月14日（予定）

## 6. 今後の見通し

貸借対照表については、当第2四半期に連結いたしますが、損益計算書は、当第4四半期より反映することから、本件株式の取得に係る2026年12月期の当社連結業績へ与える影響については現在精査中ですが、現時点では軽微であると見込んでおります。今後、業績予想修正の必要性及び開示すべき事項が生じた場合には速かにお知らせいたします。